

学校番号	415
------	-----

令和4年度 国語科

教科	国語科	科目	現代の国語	単位数	2単位	年次	1年次
使用教科書	「精選 現代の国語」 (第一学習社)						
副教材等	新訂 高校国語入門 基本(第一学習社) 漢字検定7～2級対応 書きたくなる アシスト常用漢字 (数研出版) L T現代文1 (浜島書店) 新訂版 最新国語便覧 (浜島書店)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

<ul style="list-style-type: none"> ・1年生では、高校全教科及びこれからの生活の基礎になる国語力を身に付けることをめざします。様々な文章を「読む能力」や、意思を伝えるための「書く能力」を向上させるとともに、ディスカッションやプレゼンテーションを通して「話す・聞く能力」を伸ばしていきましょう。さらに進学後や社会に出てから必要な言語に関する教養を養います。 ・授業では、課題に対して、自ら考え、周りの人と協働で考える活動を行います。 ・授業内の課題はもちろんのこと、漢字小テストなどにも目的を理解して取り組みましょう。 ・家庭学習における課題は、定期的に提出してもらいます。最後まであきらめずに取り組みましょう。授業中のノートについては板書を書き写すだけでは評価の対象になりません。授業のポイントや自身で気付いたことやクラスメイトの発言した内容などを進んで記入していきましょう。

2 学習の到達目標

<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することをめざす。</p> <p>(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
--

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。
<p>上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。</p>			

※令和4年度以降入学生用

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1 学期	東西の対比関係を用いながら、日本の水文化に見られる特徴について論じる叙述の方法を把握する。	a: 常用漢字を文や文章の中で活用する。語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 b[読]: 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。	定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート
	[教材] 水の東西(山崎正和)	c: 情報と情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとしている。	小テスト	ノート	振り返りシート
	表記・表現の基本ルールを理解する。	a: 比喩などの表現技法を理解する。 b[書]: 接続表現の種類や用法を理解する。	定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート
	[教材] 書き方の基礎レッスン	c: 効果的に書くための方法を積極的に理解し、表現の工夫を身につけようとしている。		ノート	振り返りシート
	話し言葉と書き言葉の特徴を理解する。	a: 話し言葉と書き言葉の特徴を理解する。 b[話/聞]: 相手・目的・場面に応じた言葉遣いを理解する。	定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート
	[教材] 話し方の工夫	c: 積極的に伝わりやすい表現を考え、学習課題に沿って説明や発表をしようとしている。		ノート	振り返りシート
	文章を分析的に読み、対比構造を用いた論理の展開について理解する	a: 主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 b[読]: 文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、文章の構成や論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。	定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート
	[教材] 「間」の感覚(高階秀爾)	c: 論理の展開を粘り強く分析し、今までの学習を生かして要旨をまとめようとしている。	小テスト	ノート	振り返りシート
	敬語表現が選択される視点を理解する。	a: 敬語表現を意識した言葉遣いを理解する。 b[書]: 相手や場に応じた表現が選択できるようになる。	定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート
	[教材] 待遇表現	c: 積極的に敬語表現を理解し、学習課題に沿って使おうとしている。		ノート	振り返りシート
	主題に至る論の構造を把握し、主張に説得力を持たせるための論の展開について考える。	a: 常用漢字を文や文章の中で活用する。語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 b[読]: 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。	定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート
	[教材] 「本当の自分」幻想(平野啓一郎)	c: 積極的に本文中に根拠を求め、筆者の主張に対する自分の考えを、表現の仕方を工夫して書こうとしている。	小テスト	ノート	振り返りシート
自分の意見を大勢の聞き手にわかりやすく伝えるスピーチの方法を理解し、実践する。	a: 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 b[話/聞]: 他の人のスピーチを聞き取り、評価する方法を学ぶ。	定期考査	ワークシート 発表	ワークシート 発表	
[教材] スピーチで自分を伝える	c: 進んで表現や話し方を工夫し、今までの学習を生かして効果的に話そうとしている。			振り返りシート	
2 学期	文章を分析的に読み、具体例を多用した論理の展開について理解する。	a: 主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 b[読]: 文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、文章の構成や論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する	定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート
	[教材] 日本語は世界をこのように捉える(小浜逸郎)	c: 論理の展開を粘り強く分析し、今までの学習を生かして筆者の主張をまとめようとしている。	小テスト	ノート	振り返りシート

※令和4年度以降入学生用

2 学 期	論理的に表現するための、主張と理由の関係性や妥当性について理解する。	a:主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 b[書]:説得力を意識した表現のしかたについて理解する。 c:進んで主張と根拠と理由付けの関係性を理解し、学習課題に沿って話し合ったりしようとしている。	定期考査	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート
	[教材] 論理的な表現				
	情報操作の具体例を通して筆者が提起する課題を理解し、メディア社会に生きる者として問題意識を持つ。	a:主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 b[読]:内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 c:現代社会の課題を把握し、根拠の示し方や説明の仕方を考えて書こうとしている。	定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート
[教材] 現代の「世論操作」(林香里)					
2 学 期	情報を的確に紹介する方法を理解する。	a:文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。 b[話/聞]:必要な情報や資料を収集・整理し、わかりやすい紹介文を書くために活用する方法を理解する。 c:教科書の例を参考に、説明や表現の仕方を工夫して、積極的に紹介文を書こうとしている。	定期考査	ワークシート 発表	ワークシート 発表 振り返りシート
	[教材] 地域の魅力を紹介する				
	生命科学の観点から提示される「死」について考えを深める。	a:語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 b[読]:内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 c:既習の評論と粘り強く読み比べ、共通して提起されている問題について対応策を考え、表現の仕方を工夫して文章にまとめようとしている。	定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート
[教材] 生と死が創るもの(柳澤桂子)					
3 学 期	話し合いの進め方のルールを理解する。	a:語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 b[話/聞]:論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話し合いを実践する c:実生活における合意形成のための話し合いの重要性を理解し、積極的に話し合いの進め方を理解しようとしている。	定期考査	ワークシート 発表	ワークシート 発表 振り返りシート
	[教材] 合意形成のための話し合いを行う				
	意見文とはどういうものかを理解する。	a:意見文の書き方を理解する。 b[書]:意見文とはどういうものかを理解する。 c:書いた意見文を進んで批評し合い、批評を踏まえて論理の展開や表現の仕方を工夫しようとしている。	定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
[教材] 社会に対する意見文を書く					

※表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[b]について…括弧内には[話/聞、書、読]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

- ・話すこと/聞くこと … (20) 時間
- ・書くこと … (30) 時間
- ・読むこと … (20) 時間